

事業コード	H28-建-新-02		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2483
路線名等	一般国道 105号		担当課長名	菅原 喬
箇所名	北秋田市阿仁幸屋渡		担当者名	藤谷 学
総合計画との関連	政策コード	03	政 策 名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H29 ~ H36 (8年)		総事業費	16.2億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=1,600m 幅員 W=6.5(12.0)m (2.5-1.5-3.25-3.25-1.5) 片歩道						
事業の立案に至る背景	<p>国道105号は、由利本荘市井戸尻と北秋田市綴子を結ぶ国道である。由利本荘市、大仙市、仙北市、北秋田市と県内陸部の主要拠点を結ぶ主要幹線道路であり、物流や観光などの産業振興や、救急医療、地域防災などの機能を担う非常に重要な路線である。当該区間の車道幅員は狭く、急カーブが連続することから、大型車とのすれ違い困難や旅行速度の低下が引き起こされているほか、死傷事故も発生している。道路利用者の安全を確保するとともに、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を実施する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上 ・通過交通の排除による沿線住民である歩行者自転車の安全性の向上 ○緊急輸送道路としての機能を確保(第二次緊急輸送道路)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度以降
	事業費		1,620,000	70,000	110,000	200,000	1,240,000
	経費内訳	工事費	1,440,000			200,000	1,240,000
		用補費	40,000		40,000		
		その他	140,000	70,000	70,000		
	財源内訳	国庫補助	1,134,000	49,000	77,000	140,000	868,000
		県 債	437,400	18,900	29,700	54,000	334,800
		その他					
一般財源		48,600	2,100	3,300	6,000	37,200	
事業内容			路線測量	用地測量、用地買収	本工事	本工事	
調査経緯	○平成26年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略(観光・交通戦略)の「地域間ネットワークの構築」を推進する事業						
関連プロジェクト等	○北秋田市総合計画						
事業を取り巻く情勢の変化	○平成27年9月23日に当該工区内の急カーブでバイクと乗用車の衝突による死亡事故が発生している。						
事業効率把握の手法	指標名	県管理国道改良率					
	指標式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	94 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	93 %					
	達成率 b/a	99 %		把握の時期	平成28年 4月		

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○最小曲線半径が30m、50mといった急カーブが連続しており、大型車とのすれ違い困難、旅行速度の低下のほか死傷事故も発生している。 ○平成27年には急カーブで死亡事故が発生しているため、早期に整備する必要がある	27点
緊 急 性	○北秋田市総合計画の中で広域交通基盤の整備が重点プロジェクトに挙げられており、国道105号は市を縦断する主要幹線道路と位置づけられている。 ○道路線形、幅員とも道路構造令を満足しておらず、安全な通行に支障を来している。 ○当該工区南側及び北側は改良済みであり、一連の効果を発揮するため、早期事業化が必要である。	20点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である北秋田市民病院へのアクセス路線であり、早急な整備が必要である。	12点
効 率 性	○事業の費用便益比は2.3であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 15.0億円 ・総便益の現在価値 34.0億円 ○計画交通量は4,200台/日である。	13点
熟 度	○北秋田市長より道路整備の要望書が提出されている。 ○大阿仁地区中央連絡協議会より道路整備の要望書が提出されている。 ○阿仁自治会長より道路整備の要望書が提出されている。	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	87点
	判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	
	評定結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
	当該区間は車道幅員が狭く、急カーブも連続し、大型車のみならず普通車の通行にも支障を来し、死傷事故も多く発生している状況であることから、線形改良や幅員の確保を目的としたバイパス整備は必要性、緊急性とともに効率性も認められ、第二次緊急輸送道路としての機能強化となる有効性も認められることから、1次評価における総合評価は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意見内容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
	計画区間は車道幅員が狭く、見通しの悪い急カーブが多く存在していることから、車両の通行や道路を横断する沿道住民の安全性に支障を来している。急カーブでは、車両のはみ出しや横転による死傷事故が発生しているほか、前後の区間が改良済であることから、事業実施の必要性は認められる。また、補償物件の多寡など、コスト縮減に関する検討がなされている。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
	事業実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H28-建-新-02)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (北秋田市阿仁幸屋渡)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				2次改築事業については該当しない。
	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員<5.5m 最小半径<100m 最急勾配>5% 冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	17	17	
		2箇所	12		
		1箇所	7		
		0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	18	10	
		4件該当	14		
		3件該当	10		
		2件該当	6		
		1件該当	3		
該当項目なし		0			
計		35	27		
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無			10	
		あり	10		
	緊急度の高い課題の有無	あり	10	10	
		なし	0		
	計		20	20	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7	
		第2次輸送路	7		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	7	5	
間接的に補充する		5			
計	アクセスへの貢献は小さい	1	15	12	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	
		1,000台/日以上5,000台/日未満	3		
計	1,000台/日未満	0	15	13	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	10	10	
		口頭要望あり	5		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	あり	5	5	
なし		0			
計		15	15		
合計			100	87	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		